

ずいそう

リオオリンピック 家族応援記

佐藤 康 博



リオオリンピックに、長女が出場いたしました。応援状況やリオの街などをご披露させていただきます。

【出場した種目は】

25 m ピストルと 10 m エアピストルです。

【25 m ピストルとは】

25 m 先の標的に 60 発の実弾を発射してその成績を競う競技です。標的は 1 点から 10.9 点まで設定されています。

1 点以上は中心から直径 1 m 以内ですが、世界レベルでは中心から直径 10 センチ近傍（10 点付近）に 60 発のほとんどを集めなければなりません。



標的と点数

実に角度で 0.23 度の中に納めなくてはならない競技です（ゴルフの 50 cm パットは 12 度もあります）。

【準備万端】

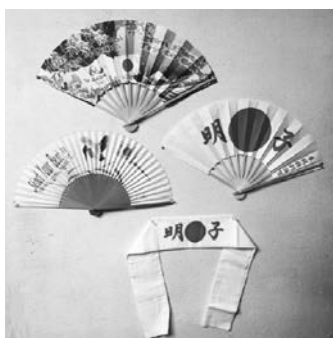
出場枠獲得はオリンピック出場の最後の機会と言われていた、今年 1 月のインド・ニューデリーで開催されたアジア予選でした。ここで 4 位となり国別出場枠を確保しました。決まりましたのは奇しくも私の還暦の誕生日。嬉しいプレゼントとなりました。

次の日から我が家の応援準備が始まりました。

①応援グッズ

（その 1）

やはり扇子でしょう！左 2 つは自家製、右はお友達からのご提供。



②応援グッズ（その 2）

テレビ番組ではありませんが、お祭りはやはりはっぴ！ 作りました。それと国旗は友人から。（後方掲示パネル隣が練習中の長女）



③応援グッズ（その 3）

私の悪友からの還暦 T シャツ。



他にも家族用似顔絵入り T シャツや日の丸付カチューシャなど多数！！

④旅行準備

マスコミや大使館 HP から注意喚起が発信されましたので旅行会社に一式発注しました。家族 4 人でちょっとした新車買えるほどかかりました。

⑤言葉は

ポルトガル語はあきらめました。通訳を初日と市内観光の日につけました（ボランティアの方々はあまり英語は話せませんでしたが、英語を話せる人を探してくれました。東京ではボランティアで恩返しをしようかと思いましたが、現在の東京の報道ではずいぶん厳しい条件のようで再考中です）。

【旅程】

リオまでの直行便はなく、成田→ニューヨークまで12時間、ニューヨークで乗り換え3.5時間、ニューヨーク→リオまで10時間。合計約26時間。成田を8月6日18時に離日し、日付変更線の関係で8月7日の朝9時にリオにやっとたどり着きました。

【会場】

開会式等の会場の「マラカナ地区」、ビーチバレー等の「コパカバーナ地区」、テニス・ゴルフ他の会場の「パッハ地区」、そして射撃やサッカー会場の「デオドロ地区」の4か所。それぞれ電車等で約1～2時間かかりますが、私たちの宿泊地コパカバーナから射撃会場まではあまり近寄ってはいけない地区を通過するため緊張しました。カメラも携帯も出してはいけないと言われていたため、車内の写真は全く撮影できませんでした（残念！）。



【食事など】

日本のマスコミ報道で不安を感じましたので、外食は諦め、カップラーメンをたくさん持参。

しかしコパカバーナのホテル周辺は大変賑やかで、シュラスコなど外食を毎晩楽しむことができました。もちろんコルコバードの丘などへも。

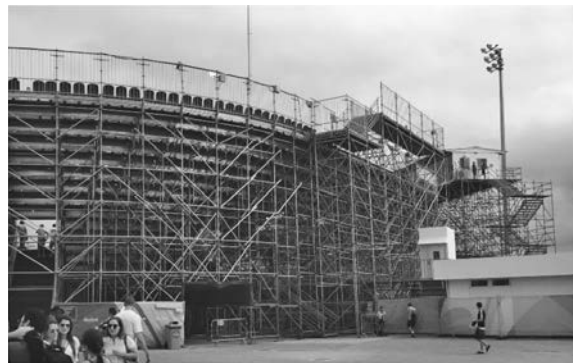


食事中、日系の通訳さんが「ブラジルは一部治安のよくないところがありますが酔いつぶれている人は見

ません」と話してました（毎晩痛飲してやっと家にたどり着く機会の多い筆者、猛反省!!）。

【驚いたこと】

テニスのセンターコートは本設でしたが、No1, No2 コートの観客席が仮設だったことと、ホテルでトイレトペーパーは流さないように注意されたこと（水に溶けないので詰まるとか）。



【成績は】

最後になりましたが、娘の成績です。

25mピストルは予選（決勝進出者8名を選ぶ）で34位となり残念ながら決勝進出はなりませんでした。

予選1位は592点（1発あたり9.87点）。

長女は565点（9.42点/発）で、先に示しました「標的と点数」の図を見ていただければ、僅差の戦いであることはご理解いただけたと思います。

10mエアピストルもほぼ同様の結果でした。

【最後に】

家族がオリンピックに出場するという栄誉を得ることができ、長女には感謝しています。またいろいろ心配されましたがオリンピック・パラリンピックが良好に終了したのは、ブラジル人の努力の結果と敬意を表します。

東京も無事開催できることを祈念しましてご報告を結びます。

